

自分ごと化会議

私に関係ある？ あり！



◆みらい戦略課企画振興係 (☎27-1250)

南陽市自分ごと化会議は、無作為抽出した市民の中から参加希望者を募り、行政課題について市民が中心となって話し合い、自分ごととして捉えていただく取組です。12月6日(土)に行われた第3回の会議には11人が参加。南陽市の現状を再確認し、ごみの排出量を抑えるために市全体でできること、個人でできることなどを話し合いながら、全3回の自分ごと化会議を振り返りました。

自分ごと化会議 協議テーマ「学んで得するゴミ問題」

第3回 全体協議 ▷前回出た意見の振り返り▷改善提案シートの記入▷今回の会議に参加しての感想

南陽市の現状

- ▷家庭系ごみ排出量が置賜地域で最も多い。
- ▷分別すべきごみも可燃ごみとして捨てている。
- ▷おもてなし料理やいただき物等の廃棄処分が多い。

(※) 可燃ごみは千代田クリーンセンター(高畠)で焼却処分され、灰は浅川最終処分場(米沢)で埋め立てられますが、現在の利用計画では令和17年で処分場がいっぱいになる予定です。さらに新たな処分場の建設には40億円以上の費用が試算されています。

令和5年度 家庭系1人1日あたりのごみ排出量(単位g)

全国	475	山形県	512
米沢市	477	長井市	471
南陽市	515	高畠町	447
川西町	460	白鷹町	455
飯豊町	433	小国町	496

・P17の「南陽市地球温暖化対策実行計画推進コラム」もご覧ください。

委員の皆さんの感想を紹介します /

様々な年代の方と意見交換することができてよかった。

得することを考えるのが難しかった。ごみの問題を多くの人に知らせることが課題だと感じた。

3回の会議を通して、ごみのことが頭から離れなくなった。

ごみを捨てる前に分別方法などを調べるようになった。

南陽市のごみの現状を知ることができた。ごみを減らす努力をしたい。

会議で学んだことを家族や友達に話したい。

会議に参加して分別するべきと分かった。分別しないのは楽だけど、後になってツケが回ってくるというのは新たな視点だった。

最終処分場を新たに建設すると莫大な費用がかかると知り、衝撃的だった。(※)

